

## 50 Strike The Bell

### 1. この歌の時代背景

この歌はポンピング・シャンティです。木造船は全て多少とも海水が侵入してきて船底に溜まる (bilge water) ため、常にポンプで排出しなければなりません。なお、この歌は1865年に書かれた *Ring the bell, Watchman* のパロディといわれています。

### 2. 日本語訳

船尾楼甲板をあちこち歩き回っている  
とてもがっしりした2等航海士がいた  
ヤツは何を考えているのか自分でも分かっていない  
急いで鐘を思い切り叩いてくれるといいんだが。

(Chorus)

鐘をたたけ!、2等航海士、船室へ降りよう  
風上をよーく見ると、風が吹いてるのが分かるだろう。  
望遠鏡を見てみる、猛烈な風だって事がわかるさ。  
さあ、急いで鐘を思い切り叩いてくれるといいんだが。

主甲板に降りてポンプを動かしている、  
左舷の見張り番がいる、ベッドを恋しがっているヤツだ。  
風上に気を付けろ、大きな波が見えるぞ。  
急いで鐘を思い切り叩いてくれるといいんだが。

船首楼甲板で、前方をしっかり見張っている、  
水夫が大声でしゃべっている。  
“日光が明るく輝いています、万事順調です”。  
2等航海士が鐘を思い切り叩いてくれるといいんだが。

船尾の操舵室で古参のアンダーソンが立っている、  
悴んだ両手で舵輪の取っ手を握っている、  
羅針盤を見つめている先はものすごく見通しがいい。  
2等航海士が鐘を思い切り叩いてくれるといいんだが。

後甲板には勇敢な船長が立っている、  
小さな望遠鏡を持って風上を見つめている、  
ヤツが何を考えているかはとうにお見通しさ。  
鐘を叩くよりも帆を絞る方がましだと考えてるんだ。

日本語訳：宮崎多加雄